

様式

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第4回川越市協働事業審査委員会
開 催 日 時	令和5年1月19日(木) 午後2時開会・午後3時40分閉会
開 催 場 所	川越市役所 7A会議室
議 長 (会長) 氏 名	遠藤克弥委員長
出席者(委員) 氏名(人数)	遠藤克弥委員長 櫻井晶夫副委員長 宮岡寛委員 栃原綾子委員 野本吉憲委員 藤井美登利委員 米原民子委員 柳内邦章委員 竹澤正人委員 (9名)
欠席者(委員) 氏名(人数)	真下英二委員 (1名)
事 務 局 職 員 職 氏 名	地域づくり推進課 課長 小熊政彦 副主幹 熊谷真一 主任 森裕美
傍 聴 者 人 数	1人
会 議 次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 令和4年度事業の実施状況について (2) 令和4年度協働事業の評価方法について (3) 令和4年度協働事業報告会の開催について (4) 令和5年度事業の取り組みについて (5) その他 4 閉会
配 布 資 料	別紙・・・次第 資料1・・・令和4年度事業の実施状況について 資料2-1・・・令和4年度協働事業の評価について 資料2-2・・・令和4年度協働事業の第三者評価について 資料3・・・令和4年度協働事業報告会 実施要領(案) 資料4-1・・・令和5年度協働委託事業の実施予定について 資料4-2・・・令和5年度提案型協働事業の取扱いについて 資料5・・・令和3年度川越市協働事業指針の改版の見送りについて ○令和5年度川越市協働委託応募要項、提案型協働事業補助金募集要項

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	開 会 14時00分
委員	1 開 会 新任委員あいさつ
委員長	2 委員長あいさつ 会議の成立 市協働事業審査委員会条例第5条第2項 会議の傍聴⇒可（傍聴者1名） 原則公開
事務局	3-1 令和4年度事業の実施状況について 資料1の説明 協働委託事業4件、提案型協働事業8件の現在の状況を説明
委員	川越いも作り270周年記念事業が記念誌の作成が終わっていないとのことだが、「発行は自己責任において行いたい」とはどういうことか。
事務局	→本来は今年度中に記念誌を発行する予定だったが、間に合わない見込みのため記念誌発行に係る費用を団体に支払うというもの。（事務局としては3月までの費用は補助金の対象とする考え）
委員	→昨年度も2年連続になる。それを審査委員会としてどう捉えるのか。
事務局	→評価についてはそこまでの現状で評価をしていただく。
委員	全体の構成があって、ここまで出来ていてここまで出来ていないくらいはわかるようにして欲しい。具体的にどこまで進んでいるのか。

委員	<p>事業に対して補助金を出している。その事業のうちのひとつはない状態。他にもやっている事業があり、そちらは実施している。</p>
委員	<p>今回も前回と同様で出来たものに対して補助金を支払う。お金の上ではそれでよいが、事業を認めた審査委員会も担当課もすっきりしない。</p>
委員長	<p>コロナを理由にせずにしっかりやって欲しい。自分たちが立てた目標はある程度は達成してもらおう。協働事業の目的は自分たちのためだけではなく川越のために事業をやる。</p>
委員	<p>協働事業なので市民団体だけでなく担当課にもヒアリングして欲しい。3回やったセミナーの費用がどれくらいなのかははっきりして欲しい。セミナーがいくらで記念誌がいくらなのか。</p>
委員	<p>100周年記念事業にも申し込んでいるのでそちらとの違いを明確にして資料として出して欲しい。補助金の2重取りになる。</p>
委員	<p>予算に対する意識が低い、ちゃんとスタッフを作ってやっているのか。</p>
委員長	<p>川越を新しくするような発想で新しいものにお金を出していく、目を向けていく。お金も全額出るわけではなく団体が出してやっていることに市の方で援助する形。やはり成果を残さず終わるのはよくない。審査委員会では報告会で見合う成果が出ているかきちんと聞いて判断する。</p>
委員	<p>新宿町五丁目の地域デジタル化、回覧物はすごく多いのでそのデジタル化はいいことだが回覧物は安否確認の意味もある。その点とデジタル化でどの程度配慮してやっていくのかこれ</p>

	<p>から注目していきたい。2月のデジタル機器操作説明会は最初にやるべきだったのでは。</p>
委員	<p>経済的な理由などで持てない人への配慮も必要。疎外感があるかもしれない。そういう人がいることを踏まえてやると優しい街づくりになる。</p>
委員長	<p>これから必要になる取り組み、新しい考えを取り入れてどう広げていくのか地域性もかかわってくる。</p>
	<p>3-2 令和4年度協働事業の評価について</p>
事務局	<p>資料2-1、資料2-2の説明</p>
委員長	<p>ずっとこの評価方法できているのでもし新たに欄を加えて欲しいもの等あれば言ってもらい、できるだけ公正な評価をしていきたい。</p>
委員	<p>プロセスを大切に評価シートで、成果に対する評価が少ない。成果を知りたい、費用の面等を次は考えた方がいい。</p>
委員長	<p>評価の仕方が若干曖昧だと思う。評価される側に誤解されやすい。何を評価されているのか。「全体として満足できる結果かどうか」はここがよければ全部よくなってしまう。</p> <p>報告会でシートを基に団体の感想や目標等を聞く時間がしっかりあるといい。シートを変えるよりは報告会の質問でカバーできるのでは。</p>
委員	<p>→報告会の質問で必ず聞く質問を設けてもよい。成果のことは意識して欲しい。</p>
委員	<p>細かいところを考えても今は1期2年の2年目にあたり、委員会は来年度から新しくなる。協働指針について協働のあり形も少しずつ変わってきているので、1ページずつ見直しなが</p>

事務局	<p>ら、検討すべき。評価方法も今年度はこの方法でやって来年度から協働指針を考えて行くべき、評価は協働指針がベースになっている。</p> <p>→評価基準を点数ではかると実際に委員さんが聞きたいことや各団体が考えていることが伝わりにくい。新年度改善しながら提案していきたい。</p>
委員長	<p>→with コロナの考え方も加えて考えたい。反省も加えながら進めていく。</p>
事務局	<p>3-3 令和4年度協働事業報告会の開催について</p> <p>資料3の説明</p> <p>過去に協働事業報告で職員研修をやったことがあり、アンケートでも良い結果だった。今後またやって欲しい。</p> <p>→今後検討していく。</p>
事務局	<p>3-4 令和5年度事業の取り組みについて</p> <p>資料4-1、4-2の説明</p> <p>協働委託事業はこども政策課の子育て情報誌作成と環境政策課のかわごえエコツアーが実施予定。地域づくり推進課の委託事業「こえど市民活動ネットワークプロジェクト」は0査定となった。来年度はたまサポ（彩の国市民活動サポートセンター）等と相談してできることを考えていく。</p> <p>提案型協働事業は今年度比微増で予算がつく見込み。今年度同様補助金上限額は20万円、補助率は2分の1とする。</p> <p>委託事業、提案型協働事業の募集要項は3月の広報で公開予定。</p>
委員	<p>委託事業の子育て情報誌作成とエコツアーは内容はとてもよくできているが、いつも同じ団体、他の団体は出てこないのか、団体の掘り起しはできないのか。他の団体を育てるためにもこういうところに申し込んで欲しい。</p>
委員長	<p>→競合することも拡大することも大事。工夫をして市民により</p>

委員	<p>大きな利益をもたらす方がいい。</p> <p>子育て情報誌は川越以外だとベネッセなどの企業がやっている。その際には発注する市がきちんと市民と協働でやることを条件にすればいい。委託を出す方に研究して欲しい。</p> <p>100周年記念事業には知らなかった団体がたくさん応募してきた。それと協働事業との差、その理由を考えて欲しい。</p>
委員	<p>新しい団体が出るために協働事業にもやることによって別の効果が出るようなインセンティブが必要。</p>
委員長	<p>募集の仕方も考えていく必要がある。</p>
委員	<p>エコツアーは市内に環境団体はたくさんある。今は年1回だが、通年で事業が実施できるとよい。環境ネットワークに声をかけるなどいくつかの団体でできないか行政から提案するなど。</p>
委員	<p>初期の頃はどこにも所属していない団体を引き上げて事業を実施していた。他にもたくさん活動している人はいる、それには公民館にも協働事業の文書を流して欲しい。</p>
委員	<p>→今年度中央公民館と協働して行った事業をモデル事業にして他の公民館にも広げて欲しい。</p>
委員	<p>100周年記念事業に応募が多かったのは100万、80万出して足りない部分は団体が出す形だったのもある。協働は上限20万で半分まで、補助率2分の1も考える必要がある。</p>
事務局	<p>3-5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越市協働指針について <p>令和8年に第5次総合計画ができる。すぐに変えることはできないがそこに向けて少しずつ検討していきたい。</p>

<p>委員長</p>	<p>・今後の日程</p> <p>第5回 協働事業報告会 2月10日(金)午後1時 ウエスタ川越1階 多目的ホールA・B</p> <p>※令和4年事業第三者評価はその後、書面審査で行う。</p> <p>第6回 令和5年度継続事業審査 3月27日(月)午後2時 やまぶき会館2階 BC会議室</p>
<p>委員</p>	<p>協働事業は平成21年から始まってまる14年経っている。1回2回で審議できることではないので長期間かかるが、来年度から検討を始めたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>指針が基本なので私たちの目で将来に向けてこのままではいけないと思うので、検討していきたい。</p>
<p>副委員長</p>	<p>5 閉 会</p> <p>副委員長あいさつ</p> <p>閉会 15時40分</p>